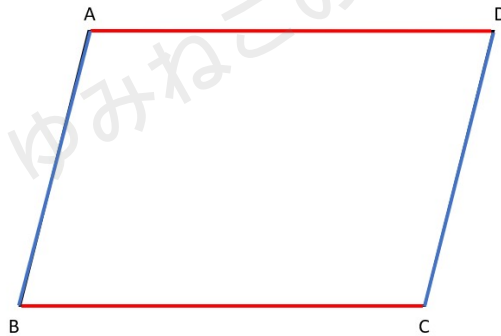


「平行四辺形の定義と性質」

平行四辺形の定理を証明してみよう

平行四辺形の対辺とは

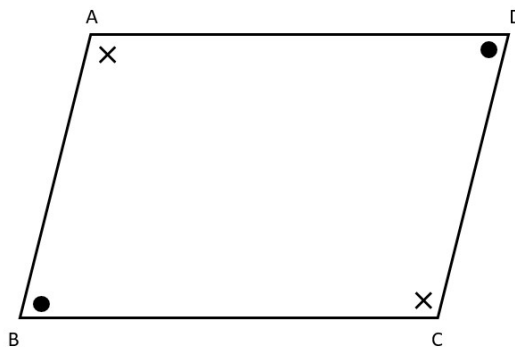
平行四辺形の辺や角の名前について確認していこう。最初に、辺の名前から確認していくよ。四角形の向かい合う辺を対辺(たいへん)と呼ぶよ。



上の図のADの対辺はBC(赤い辺どうしが対辺)、ABの対辺はDC(青い辺どうしが対辺)になるよ。

平行四辺形の対角とは

次に、角の名前を確認しよう。四角形の向かい合う角を対角(たいかく)と呼ぶよ。

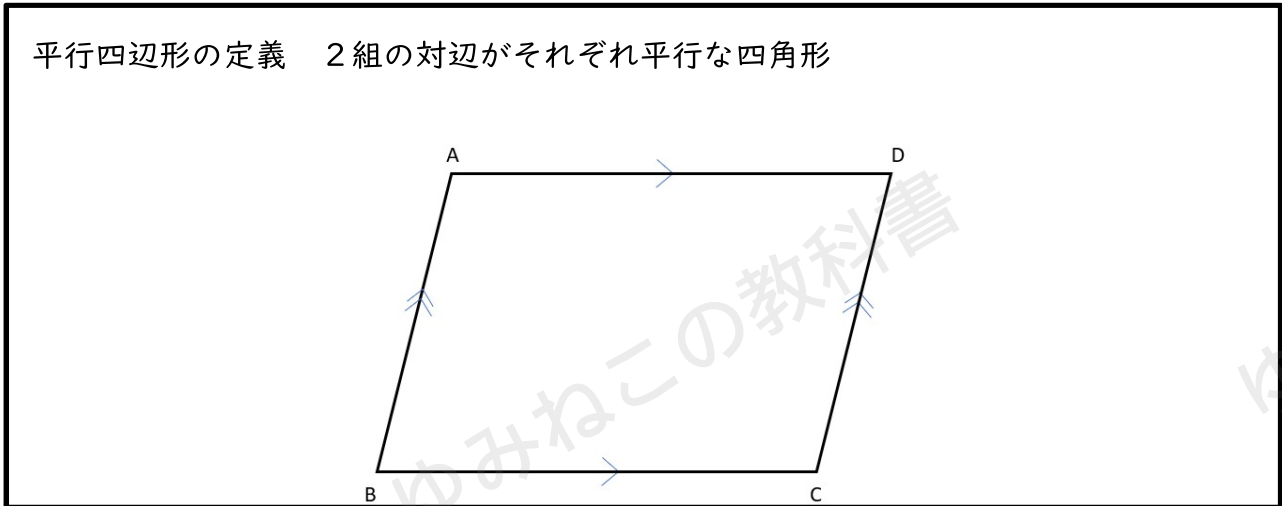


上の図の $\angle BAD$ の対角は $\angle DCB$ (Xの印がついた角どうしが対角)、 $\angle ABC$ の対角は $\angle CDA$ (●の印がついた角どうしが対角)になるよ。



平行四辺形の定義

ここから平行四辺形について、より詳しく勉強していこう。
 まずは、平行四辺形の定義から確認しよう。



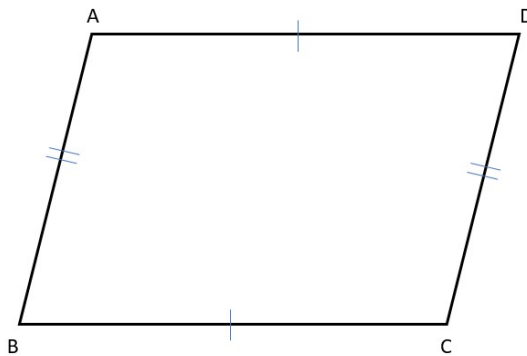
これまで登場した図形と同じように、漢字で書いたままの定義「平行な四つの辺がある四角形」だね。

平行四辺形の性質（定理）

次に、平行四辺形の3つの定理について確認しよう。

平行四辺形の定理

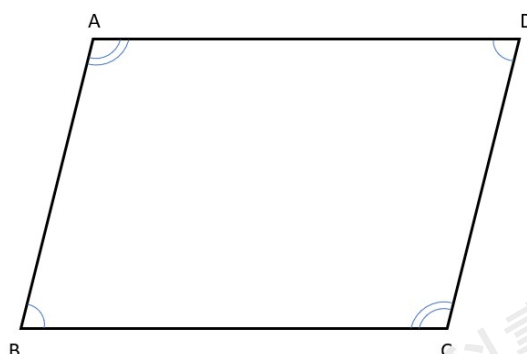
① 平行四辺形では、2組の対辺はそれぞれ等しい



$AB=DC$ 、 $AD=BC$ ということだよ。

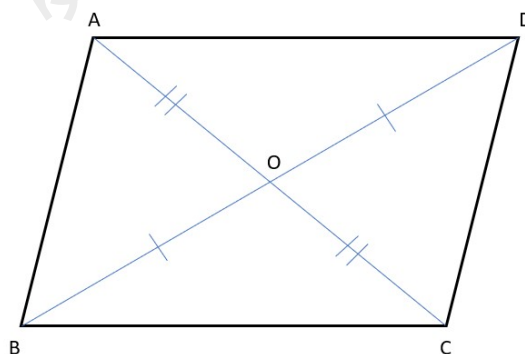


②平行四辺形では、2組の対角はそれぞれ等しい



$\angle ABC = \angle CDA$ 、 $\angle BAD = \angle DCB$ ということだよ。

③平行四辺形では、対角線はそれぞれの中点で交わる



$BO = DO$ 、 $AO = CO$ ということだよ。

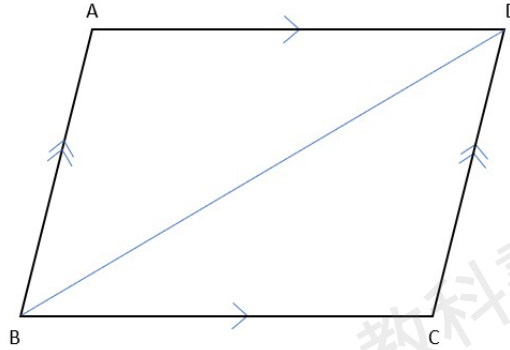
それぞれの定理は、定義を使って証明することができるから確認してみよう！

平行四辺形の性質の証明

①平行四辺形の2組の対辺がそれぞれ等しいことの証明
 四角形 ABCD が $AB \parallel CD$ 、 $AD \parallel CB$ の平行四辺形ならば、
 $AB = CD$ 、 $AD = CB$ であることを証明しなさい。



平行四辺形 ABCD の頂点 B と頂点 D を結んで、 $\triangle BAD$ と $\triangle DCB$ が合同であることを使って証明していくよ。



$\triangle BAD$ と $\triangle DCB$ において

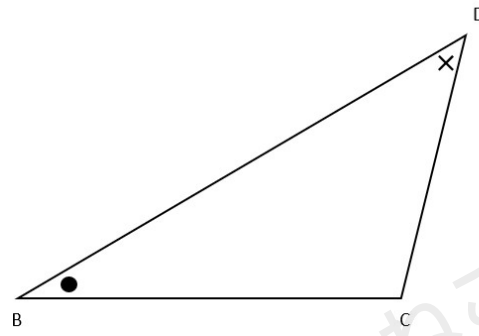
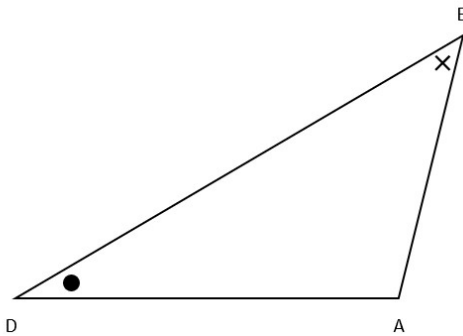
仮定の $AB \parallel CD$ から、平行線の錯角が等しいので、

$$\angle ABD = \angle CDB \dots \textcircled{1}$$

仮定の $AD \parallel BC$ から、平行線の錯角が等しいので、

$$\angle ADB = \angle CBD \dots \textcircled{2}$$

BD は共通 $\dots \textcircled{3}$



①、②、③より、1組の辺とその両端の角がそれぞれ等しいから

$$\triangle BAD \cong \triangle DCB$$

合同な図形の対応する辺は等しいから

$$AB = CD, AD = CB$$

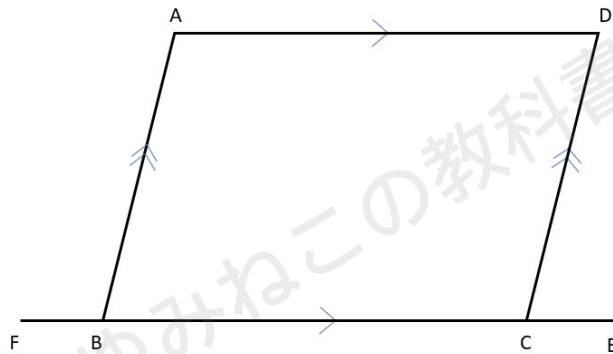
よって、平行四辺形の2組の対辺はそれぞれ等しい。



②平行四辺形の2組の対角がそれぞれ等しいことの証明

四角形 ABCD が $AB \parallel CD$ 、 $AD \parallel CB$ の平行四辺形ならば、 $\angle ABC = \angle CDA$ 、 $\angle BAD = \angle DCB$ であることを証明しなさい。

平行四辺形の辺 BC の延長線上に点 E、点 F をとって証明していくよ。



仮定の $AD \parallel BC$ から、平行線の同位角は等しいので、

$$\angle ABC = \angle DCE \dots \textcircled{1}$$

また平行線の錯角は等しいので、

$$\angle DCE = \angle CDA \dots \textcircled{2}$$

①、②より

$$\angle ABC = \angle CDA \dots \textcircled{3}$$

※下の左側の図で確認しよう。

同様に、平行線の同位角は等しいので、

$$\angle DCB = \angle ABF \dots \textcircled{4}$$

また平行線の錯角は等しいので、

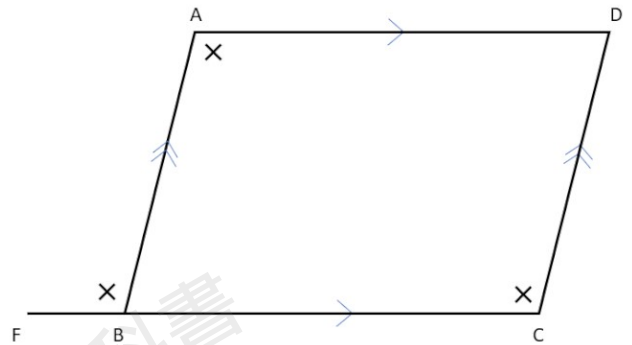
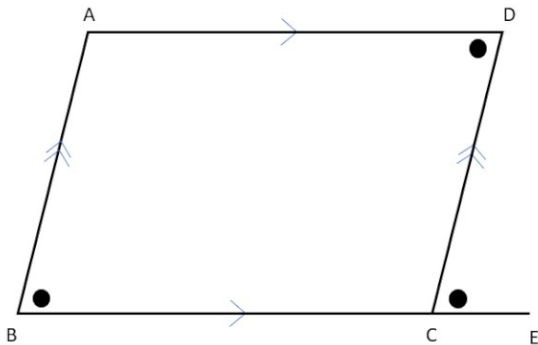
$$\angle ABF = \angle BAD \dots \textcircled{5}$$

④、⑤より

$$\angle BAD = \angle DCB \dots \textcircled{6}$$



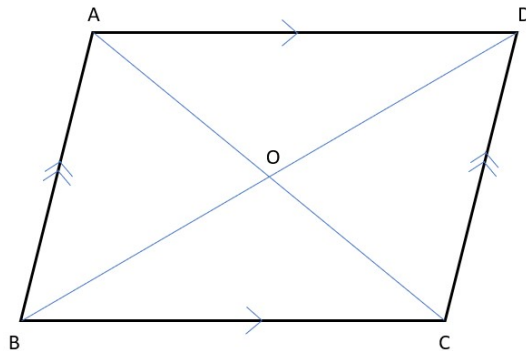
※下の右側の図で確認しよう。



③、⑥より平行四辺形の2組の対角はそれぞれ等しい。

③平行四辺形の対角線がそれぞれの中点で交わることの証明
 四角形 ABCD が $AB \parallel CD$ 、 $AD \parallel CB$ の平行四辺形ならば、
 $AO = CO$ 、 $BO = DO$ であることを証明しなさい。

平行四辺形 ABCD の頂点 B と頂点 D を結び、頂点 A と頂点 C を結び、その交点を O と
 して、 $\triangle ABO$ と $\triangle CDO$ が合同であることを使って証明していくよ。



$\triangle ABO$ と $\triangle CDO$ において

仮定の $AB \parallel CD$ から、平行線の錯角は等しいので、

$$\angle ABO = \angle CDO \dots \textcircled{1}$$

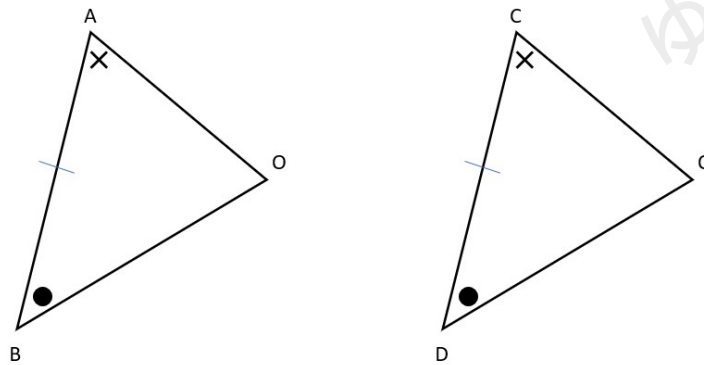
仮定の $AD \parallel BC$ から、平行線の錯角は等しいので、

$$\angle BAO = \angle DCO \dots \textcircled{2}$$

平行四辺形の対辺は等しいので、

$$AB = CD \dots \textcircled{3}$$





①、②、③より、1組の辺とその両端の角がそれぞれ等しいから

$$\triangle ABO \equiv \triangle CDO$$

合同な図形の対応する辺は等しいから

$$AO = CO, BO = DO$$

よって、平行四辺形の対角線はそれぞれの中点で交わる。

二等辺三角形の定義・定理と同じように証明の中で「すでに正しいと認められていることがら」として使うことができるから、しっかりと覚えておこう！

平行四辺形の定義と性質まとめ

- ・ 平行四辺形の向かい合う辺を対辺、向かい合う角を対角という
- ・ 平行四辺形の定義
2組の対辺がそれぞれ平行な四角形
- ・ 平行四辺形の性質（定理）①
平行四辺形では、2組の対辺はそれぞれ等しい
- ・ 平行四辺形の性質（定理）②
平行四辺形では、2組の対角はそれぞれ等しい
- ・ 平行四辺形の性質（定理）③
平行四辺形では、対角線はそれぞれの中点で交わる

